



1 課題

人口減少地域において、より多くの地域住民や関係者が参加する中で、地域のにぎわい再生に向けた議論が必要である。

2 概要

河内駅周辺地区の土地・建物の利用状況の調査を通じ、マップ作成による見える化を図り、マップをもとに住民等との意見交換を行い、活性化策を検討する。



大学

田中 貴宏

広島大学

大学院先進理工系科学研究科 教授



市担当課

×

地域振興部
地域政策課

河内支所地域振興課



▲高校生を対象としたワークショップの様子



▲作成した空き家マップを使いながら地域住民と話し合う様子

3 研究成果 データ取得・分析

- ①ワークショップを行うことにより、河内高校生徒の河内駅に対する要望を把握した。
- ②人流データを用いた分析により、河内駅及び周辺地区滞在者の移動パターンを把握した。
- ③大学内のワークショップを行い、河内駅、河内駅周辺地区、それぞれに対して検討・提案を行った。



4 今後の展望・現状 担当課で事業実施

これまでの成果を踏まえ、JR河内駅周辺地区における空間資源（空き家、空き地、公共空間等）の活用方策をまとめたビジョン作成及びビジョンに描いた空間資源活用方策の実証実験を行う。